

令和7年度 第1回公園緑地専門部会 会議概要

■日時

令和7年4月30日（水）10時00分～11時30分

■場所

千歳市役所本庁舎 2階庁議室

■出席者

委員出席者：丹波委員（部会長）、服部委員、高橋委員、小田委員、南家委員、立田委員、松本委員
(計7名)

委員欠席者：なし

事務局：都市整備課長ほか2名

市：都市整備課公園管理係長、公園整備係長

傍聴者：1名（緑化審議会 愛甲会長）

■会議結果

1 開会

2 都市整備課長挨拶

3 議事

- (1) 緑の将来像について
- (2) 緑の配置方針図について
- (3) エコロジカルネットワーク図について
- (4) 目標値の設定について
- (5) 今後のスケジュールについて

【決定事項】

- ・重点施策は次回専門部会で提示し、中間素案は重点施策まで含めた段階で提示することで了承された。
- ・上記(1)～(3)及び(5)については、会議資料に基づき事務局から説明を行い、内容について検討を行った結果、概ね事務局案のとおり進めていくことが決定された。
- ・上記(4)については、目標値を厳選して設定する、総量目標のみにする、アンケート調査で達成度を確認する等の意見があったことから、再度検討することとなった。
- ・その他、既に関係機関と調整を図った街路樹や植樹枠等の重点管理区間について、下図の青色で囲った場所（国道337号の一部及びグリーンベルト）を追加し、国道337号については再度関係機関と調整を図ることとなった。
- ・資料中の文言等については、今後も必要に応じ修正していくこととなった。



4 閉会

■会議における意見及び質疑応答等

1 議事(1) 緑の将来像について～(3) エコロジカルネットワーク図について（関連した内容となるため、事務局からまとめて説明）

【委員 A】

景観の緑について、泉郷神社にも樹林があるが、保全樹林として指定する予定はないのか。

【事務局】

現状で予定はないが、他の樹林や樹木も含め、今後、保全樹林や保全樹木として指定していく可能性はあることから、検討していくことについては、計画に記載できると考える。

【委員 B】

景観の緑について、新千歳空港周辺の景観をきれいににするよう空港政策課において国に要望していたように思う。緑の基本計画にも取り入れて、整合を図ってはどうか。

【事務局】

確認して連携できるようであれば記載を検討する。

（部会終了後、空港政策課へ照会。空港周辺沿道の景観整備については、現在は国へ要望していないことを確認済み。）

【委員 C】

防災の緑における配置方針図やエコロジカルネットワーク図について、部会で出た意見が反映されていてよいと思う。

【委員 D】

配置方針図は現状を整理したという位置付けでよいか。また、レクリエーションの緑に美々公園が位置付けられている点について、美々公園はあまり知られておらず、人が集まる場所ではないように思うが。

【事務局】

配置方針図については、今後も保全していきたい場所を選んでいる。美々公園は、今は木橋を整備している程度だが、自然散策される方もおられることから、駐車場や園路などの最低限の整備はしつつ、今ある自然は守っていきたいと考えている。

【委員 E】

全ての場所を把握しているわけではないので感覚的にわかりにくいが、全体的な考え方としては、この方向で進めてもらってよいと思う。

【委員 F】

エコロジカルネットワークにおける動物の侵入については、泉沢自然の森でも毎年熊の目撃情報が出ている。今後、どう管理していくかを詰めていく必要がある。

【事務局】

エコロジカルネットワークを繋げながらも、管理をきちんとやっていければと考えている。

【委員 D】

熊という話があったが、鹿との衝突も危険だと思っている。向陽台は中央分離帯の街路樹で見通しが悪いので、良くしてもらいたい。

【事務局】

担当課へ情報共有する。

【部会長】

レクリエーションの緑について、インバウンドが増えているので、まちなかに緑に親しむ場やアピールする場があればよいと思う。

【事務局】

グリーンベルトのイベントや、かわまちづくり計画と連携した千歳川河川敷の活用など、外国の方にも知りていただける機会を創出できればと考えている。

【部会長】

エコロジカルネットワークについては、動物だけでなく、植物などの外来種も問題になってくると思う。何か対策を行う必要があるのではないか。

【事務局】

環境課の計画等において、外来種における記載があったと記憶しているため、整合を図る。

2 議事(4) 目標値の設定について（事務局から説明）

【委員 A】

新しい利用ルールを定めた公園数について、目標値は9箇所となっており、数値の根拠が中学校区に1箇所となっているが、小中併置校が2箇所（駒里小・中学校と北進小・中学校）あり、駒里小中学校区や東千歳中学校区には公園がないことから、原則9箇所としてはどうか。反対に、みどり台方面は人口が多いので、小学校区としてもよいのではないか。

【事務局】

箇所数や記載方法について検討する。

【委員 B】

成果目標値があった方がよいと思うが、今後の負担にならないか。

【事務局】

専門部会において、施策の目標値があった方が評価しやすいという意見もあり、案として作成した。成果目標ではなく、施策の中に文章として整理する方向でもよいかと考えている。

また、緑化振興に係る成果目標については、主にちとせ環境と緑の財団（以下「財団」という。）に事業を行っていただいている、午後に開催する都市緑化専門部会において、意見を伺いたいと考えている。

【委員 B】

公園DXはどんなイメージか。

【事務局】

公園施設等の情報をデータ上で管理し、業務の効率化を図るイメージを持っている。

【委員 C】

官民連携による公園の利活用について、札幌の百合が原公園で事業を行っているのは聞いたことがある。千歳は雪が少なく、雪遊びやスケートも満足にできないので、冬期間、公園に足を運ぶ理由がないことから、目標値の8箇所は難しいかもしれない。目標値は施策1～施策11まで全て設定するのか。11個もあると目標値を設定するのが難しい項目もあるのではないかと思う。

【事務局】

成果目標は現状値がわかるものを抽出し、案として11個設定しているが、3つの方針ごとに1つずつ設定することや重点施策に対して決めることも考えられることから、案に対する意見を伺い、検討していきたい。

【委員 D】

目標値は定めるべきだと考える。重点施策に目標値を設定するのが一般的ではないか。総量目標における量の確保と質の確保というのはどのような意味か。

【事務局】

現状における緑の整備量を確保しつつ、確保した量の中で維持管理や利活用等の質の向上を図っていきたい。

【委員 D】

質の向上を誰がどのように判断するのか。一人当たりの公園面積の目標値について、設定なしの理由に人口推移が不透明とあるが、設定しておいて途中で見直しをすればよいのではないか。また、「都市計画区域内における緑地面積の維持」について、目標値を増やすとなっているので、「の維持」は不要ではないか。

【事務局】

質の向上の判断と一人当たりの公園面積の目標値の設定については検討し、文章については修正する。

【委員 E】

成果目標は必要かと思うが、目標値を定める上での基準を決めるのは難しい。数値的に表せるもので、本当に必要な目標値を作ることができるかがポイントだと思う。矢印（↗）で示している箇所について、基準に対する目標を設定できれば分かりやすいのではないか。

【事務局】

必要な目標値を限定することも検討する。

【委員 F】

現況の都市公園における緑地面積は整備済みの面積か。目標年次（R27年）の整備量は、都市公園が約80ha増の考えでよいか。市街化区域緑地面積と都市計画区域緑地面積で数値の上がり幅が違うのはなぜか。

【事務局】

現況の都市公園の緑地面積については、整備及び開設済みの面積である。目標年次の整備量については、市街化区域の拡大に伴う公園整備と未開設公園の開設による面積を含めた場合、現状より85ha増となる。

また、市街化区域緑地面積と都市計画区域緑地面積で目標年次までの数値の上がり幅が異なる理由は、美々公園の一部が市街化区域となっているためである。

【委員 F】

公園・緑地における樹木の維持管理方針の策定は目標値としなくてもよいと考えるが、取り組んでもらいたい。青葉公園や防風林は枯損木が増えているため、補植や間伐などの考え方を整理してもらいたい。

目標値の設定については、緑地面積の数値くらいでよいのではないか。公園等における町内会委託管理数が減少していく中、目標値を設定するのは難しいと思う。

SNSについては、指定管理業務を行う中、情報発信まで手が回らない状況だが、今後必要だと思うので、どういう形でできるか検討していきたい。

【部会長】

数値目標があると達成状況の判断が容易になるのでいいと思うが、数値化できるものとできないものがある。なるべく数値化できるもの、過度な負担にならないもので設定できればと思う。質の向上となると利用者の満足度（アンケート）という形で設定するしかないのではないか。年数が20年と長いので、目標が途中で変わることもあることから、一つの項目に対し、5年区切りなどで重点的に取り組むものを選んだ方がよいのではないか。

SNSで千歳市のLINEを登録したがとても便利である。緑化についての情報もあり、もっとアピールしてよいと思う。一方的な情報発信でもよいと思う。

【委員 C】

SNSの活用について、新しく開設するよりも市に情報を集め、市から発信する方が、新たに開設する負担が減り、登録者もそのまま確保できるのではないかと思う。

【委員 E】

目標値は20年後の設定か。

【事務局】

20年計画だが、中間見直しを10年後と想定している。

【委員 E】

それだけ長い期間であれば、成果目標は11個なくても重要なもののだけでよいのではないか。無理やり目標値を定めなくともよいと思う。

【委員 D】

最終的には市民が満足するかどうかだと思うので、アンケート結果における満足度を上げていくということでのいいのではないか。

【事務局】

本日いただいた意見と都市緑化専門部会の意見も踏まえ、再度検討したい。

【委員 A】

植樹まずは使われているところと使われていないところがあり方向性を決めてほしい。枯れかかっている樹木もあるのでどのようにしていくのか検討してほしい。台帳整備が必要ではないか。

【事務局】

公園台帳はあるため、そこに樹木の情報も入れていきたいと考えている。街路樹においては、整備後に情報更新できていないところもあるため、関連部署に情報共有し、調整していくと考えている。

3 議事(5) 今後のスケジュールについて

【事務局】

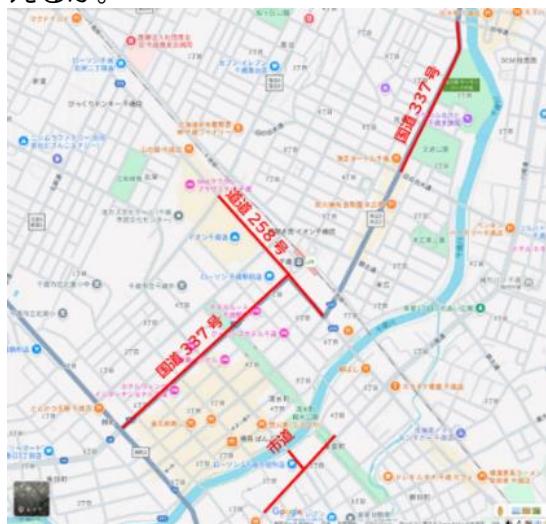
次回は審議会を予定していたが、部会において重点施策まで検討したあと、審議会に諮りたいと考えている。その他については今のところ変更はない。

【委員一同】

意見なし。

【事務局】

その他として、以前都市緑化専門部会において街路樹や植樹枠等の重点管理区間を決めたことから、国や道などの関係機関と協議し、図の赤線部分について了承を得たが、どのように考えるか。



【委員一同】

ネットワーク化したほうがよい。

【事務局】

国道 337 号の部分を南側に延伸し、グリーンベルトも含めるとネットワーク化できるが、いかがか。

【委員一同】

賛成する。

【事務局】

専門部会の意見を持って、国道部分については、再度、関係機関と協議を行うこととする。

4 閉会

次回の公園緑地専門部会は 6 月 17 日(火) 午前 10 時からを予定している。緑化審議会は 7 月を予定している。

以上